

2024年9月

力を伝える

エネルギー保存の法則という物理の基本法則がありますが、エネルギーは無くならず、移動していくものという法則です。自分の身の回りで起こるすべての事も、目に見えないこの原則に従っています。だから様々な結果が生じるのです。良い結果を出そうと思えば、考えただけではエネルギーは移動しませんので、何かしらのアクションが必要です。

手術では様々な道具を用いますが、破裂してくも膜下出血を起こした脳動脈瘤をクリップするという器具があります。動脈瘤に近づくまで術者の手の力でしっかり開いたクリップを、動脈瘤の根っ子に静かに持ってきて離します。するとクリップが閉じて、動脈瘤の処理が完了します。この時は術者のエネルギーをクリップに託しているという感覚です。音楽家は楽器に、芸術家は絵筆に、料理人は包丁に、野球ではバットにそれぞれのエネルギーを託します。そのエネルギーが作品という結果を生み出します。

一日の何でもない動作をエネルギーの移動という感覚で見直してみると、一つ一つがエネルギーで輝いて、漫然とした行動が、集中したものに変わり生き生きしてきます。少し意識してみてください。

